

2. ふるさと運動事業

(1) 総務部

ア 健康づくり推進事業

日時： 毎月第一土曜日

場所： 沼南近隣センター（ひまわりプラザ）

内容： 体操・ストレッチ・盆踊りなど体を動かし健康推進

イ 納涼夏まつり

日時： 8月24日（土）

場所： ひまわりプラザ室内・駐車場

内容： 地区の生徒たちの演奏・踊り、フラフープ大会、盆踊り、屋台など

参加者：約1000人

ウ バスの旅

日時： 10月10日（木）

場所： 鴨川シーワールド バス1台（参加者45人）

エ 第41回沼南まつり参加

日時： 10月13日（日）

場所： アリオ柏

内容： 輪投げ競技（参加者約50人）

オ 第25回大津ヶ丘ふるさとまつり参加（悪天候の為中止）

日時： 11月2日（土）

場所： 大津ヶ丘第一小学校校庭

カ ひまわりプラザまつりに出展

日時： 11月30日（土）～12月7日（土）※クイズは21日まで実施。

場所： ひまわりプラザ 1階ロビー

内容： 風北ジョイナス主催「防災クイズ」（応募者60人）

(2) 広報部

ア 広報しょうなん編集・発行

年3回発行

配布数

8000部

✧ 広報紙「しょうなん」第45号（令和6年 5月 1日付）

✧ 広報紙「しょうなん」第46号（令和6年11月 1日付）

✧ 広報紙「しょうなん」第47号（令和7年 2月 1日付）

イ LINE 風早北部ふる協みんなの情報通信 友達登録は180人 月1回の頻度で配信

ウ ホームページ運営 お知らせにてトピックスにて都度更新中

閲覧ページ数は月間でおおよそ 3,000 ページとなっており、約 2,000 名の地域の方々にアクセスいただきました。掲載件数も月 10 件以上を目標にしていますが、関係各位のご支援で 30 件を超える月もあり、喜ばしいかぎりです。引き続き、「地域全体のホームページ」を目指してまいります。

(3) 環境部

ア ゴミゼロ運動

日 時：令和 6 年 5 月 26 日～6 月 30 日各町会等団体で随時実施

場 所：風早北部地域全域

内 容：路上等に散乱するビン、缶、ペットボトルを収集し、環境美化を図る

イ 納涼夏まつり（8 月 24 日開催）

会場でのゴミ箱を設置し、ごみ処理整理作業、翌日のゴミ集約作業を行う

ウ 環境部講演会

日 時：10 月 18 日(金) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所：ひまわりプラザ 2 階学習室 1・2

講 師：柏市ストップ温暖化サポーター 山田殖保先生

テーマ：『地球温暖化に対して』～地球温暖化対策の取り組み～

参加者：35 人

エ 環境部視察研修

日 時：令和 7 年 1 月 22 日(水)

場 所：①クリーンセンターしらさぎ ②リサイクルセンターリボン館
③流山クリーンセンター

参加者：27 人

(4) 防犯防災部

ア 活動の総括

感染症問題が一段落し、人と人が接しあう活動が基本となる防犯、防災の取り組みが一年前から徐々に解禁できるような社会・生活環境になりました。

大規模地震・風水害への対応は、平時においての心構えや物理的な準備が大切であり、用意を重ね何も起きないことに安堵する姿勢を基本に、「SDGs（持続可能な諸行動の実行）を目指した取り組み」につき、具体的に以下の 5 つの項目を目標に据えての活動を実施しました。

- ① 備蓄品や防災知識向上（自助の強化）
- ② 災害時の安否確認の実現（共助の確立）
- ③ 非常時の電話以外の代替連絡手段の確保（共助と公助の連携）
- ④ 安全・安心な避難行動の実現（自助と共助の融合）

⑤ 適切な避難所運営マニュアルの策定（共助の確立）

その結果、今年度におきましても、昨年度同様に多くの地域団体に防災活動が実施され、概ね全体の 8 割を超える(防災活動団体単位で 31 団体中 25：後述「別紙 1」の実施日記載)団体において、地震等の災害を想定した住民参加型の防災訓練(消防法に基づき集合住宅で実施される防火消防訓練のみ実施の団体は「別紙 1」実施日記載の対象外)が行われました。

イ 個別の活動報告

上記「ア」の①及び④に掲げる自助の強化では、季刊・毎月の住民向けニュースとして「防災ネットしょうなん」、「防犯情報しょうなん」及び「ひまわり通信」をそれぞれホームページに掲載し、更に広報しょうなん印刷紙面にて情報を発信しました。更に昨年 6 月 29 日に実施した「災害発生時に取るべき適切な行動を学ぶ」講習会を通じて、住民の防災意識の向上を目指しました。

②共助の活動としてシェイクアウト訓練実施の住民向け呼び掛けや安否確認訓練が多くの団体に実施されました。また同じ日時での地域内一斉での訓練までには至りませんでしたが、各学校の指定避難所を会場にした訓練が、大津ヶ丘第一小学校及び沼南高等学校以外の会場で住民避難訓練が開催されました。地域内の各団体に実施の防災訓練等の結果は後述の一覧表「別紙 1」を参照ください。

③の非常時の連絡手段は、上記安否確認に付随して重要な項目であり、電話以外の連絡手段の確保が欠かせないことを、改めて各団体や住民に理解を求める必要があります。今期は、秋季の各団体に実施された安否確認訓練や住民避難訓練実施に際し、柏市風早北部地区災害対策本部(沼南近隣センターに設置)との間での無線機交信訓練を多くの団体との間で実施しました。

現在の当地域内での無線機(3R5W出力のトランシーバー)の所有台数は、計 70 基におよび、防災活動単位の 31 団体(当会未加入の大津ヶ丘第 2 住宅管理組合を除きます)中 29 団体が無線機を利用し、万が一の緊急連絡用の命綱のとして活用しています。

⑤の活動は、万が一各指定避難所の担当職員(市職員や施設管理者)が災害発生時に現場に駆け付けられないことを想定し、住民自ら各避難所の避難住民等の受け入れを可能とする「避難所開設手順書(仮称)」の編纂に取り組みました。同書面の完成には至っていませんが、次年度にはその完成を目指し、避難訓練での活用を目指します。

なお個別の活動結果概要は以下に列記しましたとおりです。

(1) 具体的な活動内容

活動名称	実施日	主な実施点の概要	参加数
第 1 回 防災意見交換会	令和 6 年 5 月 25 日	・ 令和 6 年度事業活動計画の説明 ・ 当地域防災を取り巻く現状と課題 ・ 柏市災害発生時防災体制（防災安全課・及び沼南近隣センター説明）	32 人
第 2 回 防災意見交換会	令和 6 年 6 月 29 日 午前	・ 防災講習会（講師：市防災研究会） 「災害発生時に取るべき適切な行動を学びましょう」	43 人

第1回風北ジョイナスの集い	令和6年6月29日 午後	・心肺蘇生講習会の実施 (柏市女性消防団のご協力)	11人
第3回 防災意見交換会	令和6年7月27日	・秋季防災訓練実施に向けた協議 (避難所ごとに分科会形式で実施)	36人
第4回 防災意見交換会	令和6年9月28日	・柏市管内水位観測システム(通称りすくマ)の住民閲覧共有に関する説明会 (講師:市上下水道局職員) ・秋季防災訓練実施に向けた協議継続	32人
第5回 防災意見交換会 (防犯講習会)	令和6年11月23日	・柏市の犯罪発生情勢と住民による対策 (講師:犯罪取締り経験と知見のある一般市民) ・消費トラブルの現状(講師:市消費生活センター職員)	25人
第6回 防災意見交換会	令和7年1月25日	・今期防災訓練の総括 ・柏市長への防災関係宛要望書の内容説明 ・避難所開設手順書の作成協議	29人
第7回 防災意見交換会	令和7年2月22日	・今年度事業活動の報告 ・次年度事業計画案の説明 ・次年度(後任)担当者との連絡 ほか	30人
第2回風北ジョイナスの集い	令和7年3月15日	・令和7年度活動計画の検討・協議	8人

(2) 住民向け情報発信件数(当会 HP 掲載+希望団体に紙面で提供)

配信情報

発信件数(号外版を含む)

防災ネットワーク通信	計38号をHPに掲載
風早北部防犯情報しょうなん	計69号をHPに掲載※
ひまわり通信(季刊紙)	計4号をHPに掲載

※2024年11月以降は毎週1号以上の頻度で発行しています。

ウ その他

◇ 柏市長宛の要望書の提出及び会見・協議の実施

12月24日に当会会長から柏市長宛てに「柏市の防災活動に関わる風早北部地域住民からの要望書」を4項目で提出(「別紙2」を参照)しました。なお、本要望書に対する市の回答は新年度(本年5月中旬)に実施し、その結果概要は、別途「ひまわり通信(2025年夏季号を予定)」にてご案内します。

◇ 地域住民向け防犯防災知識向上の啓発活動を実施

(1) 防災講習会(6月29日実施:会場は沼南近隣センター大ホール)

…「別紙3」参照

(2) 柏市管内水位観測システム(通称「りすくマ」)の市民閲覧に関する説明会
(9月28日実施：会場は沼南近隣センター2階学習室) …「別紙4」参照

(3) 防犯講習会(11月23日実施：会場は沼南近隣センター大ホール)
…「別紙5」参照

(4) 防災クイズ「風北ジョイナスからの挑戦状」を実施

昨年12月上旬のひまわりプラザまつりの機会に、防災クイズ10問をひまわりプラザ1階ロビー及びラウンジを利用して開催し、同まつり期間(その後2週間延長)に計60人の市民の皆さんにクイズ参加をいただきました。このうち成績優秀者の中から抽選で12人の方々に2kg入りのお米を進呈しました。

(5) 地区社協部

○役員会(毎月第2火曜日開催) 12回開催

㊦総会 5/11 69人(出席48人、委任状11人)

㊧福祉委員全体会 5/25 出席63人

㊨地区懇談会 12/7 出席64人

㊩大津川を歩こう会 4/14 出席48人 11/24 出席36人

㊪手賀沼を歩こう会 3/20 出席19人

㊫高齢者慰問活動 カステラ配布 2,215人

㊬バスの旅 12/4 川越方面 参加97人

㊭委員研修 9/24 渋沢栄一記念館 参加27人

㊮ふれあいの会 1/26(日) 参加280人

○区・町会等情報交換会 7/27(土) 25名参加(区長、町会長10人)

○広報部会 年3回(6. 10. 2月) 9000部発行・配布

○世代間交流部会 定例会9回

世代間交流事業(ピンポン、ポッチャ) 第3日曜日開催 9回

行事参加(大一小I年生、ふるきょうまつり、中央商店会まつり、プラザまつり)

○サロン部会 サロン交流会 7/9 サロン17カ所で毎月開催

○福祉部会 定例会毎月第1金曜日 11回開催

手芸講習会 6/20 25人参加 ポシェット作り

料理講習会 11/20 17人参加 12/10 18人参加

友愛訪問 通年 委員研修 10/9 「優しい介護の仕方について」20人参加

健康講座 3/12 32人参加

○日常生活支援事業

あいあいの会 利用回数：254回 延べ協力会員数：90人

おたがいさまの会 利用回数：734回 延べ協力会員数：814人

○風早北部地域ささえあい会議「ひまわりっこ」活動支援

手賀の杜「子ども食堂ハッピースマイル」活動支援

(子供食堂支援、フードパントリーでの弁当・食料品の配布支援)

ふるさと協議会連合会関連の実施結果

- 第1回定例会 期日：令和6年4月26日（金）午前10時～12時
会場：本庁舎5階第5・6委員会室
- 第2回定例会 期日：令和6年6月29日（土）午前10時～12時
会場：本庁舎5階第5・6委員会室
- 第3回定例会 期日：令和7年1月31日（金）午前10時～12時
会場：本庁舎5階第5・6委員会室
- 視察研修及び交流会 期日：令和6年10月17（木）、18日（金）
視察場所：静岡県NPO法人丸子街づくり協議会
- 担当者研修 期日：令和6年12月12日（木）午後2時～4時
会場：アミュゼ柏プラザ
テーマ：柏市地域防災計画におけるふるさと協議会の役割
- 会計担当者研修 期日：令和7年1月15（火）午後1時半～3時
会場：介護予防センターいきいきプラザ
- 地域リーダー研修 期日：令和7年2月14日（金）午後2時～4時
会場：アミュゼ柏プラザ

【別紙１】風早北部地域内各団体防災活動・訓練実施状況一覧（空欄は今期の活動見合わせ）

各項目 団体名		実施日 消防訓練 のみは 未記載	防災訓練等の内容						
			避難所へ の移動等 訓練	安否確認		シェイクアウト 実施呼掛け	消防 訓練 実施	防災教育や 講習会参加	防災倉 庫備品 点検等
				実 施	地区本部と の無線通信				
箕輪区		12/8	○		○			○	
五條谷区		11/17	○					○	
大井区	新舟戸	11/24	○		○				
	井堀内	11/24	○	○	○	○		○	
	大木戸	11/17	○					○	
	追花	10/19	○	○	○				○
	柏東 PH	12/15	○	○	○		○	○	○
	沼南エリカ	10/20	○	○		○	○	○	○
	中郷	11/24	○	○	○			○	
	中の橋	10/27	○			○		○	
	舟戸	11/24	○		○	○		○	○
	緑台	11/17	○			○		○	
大島田区									
塚崎区		10/20	○	○	○	○	○	○	○
塚崎二丁目		10/6	○	○	○	○	○	○	○
塚崎三丁目		10/20	○						○
大津ヶ丘一丁目		11/23	○	○		○		○	○
大津ヶ丘二丁目									
大津ヶ丘三丁目		10/13	○	○	組織内通信	○		○	
大津ヶ丘四丁目		11/17	○	○	○			○	
サンパワー区		10/27	○	○		○		○	
大津ヶ丘第一住宅		11/24	○	○			○	○	○
大津ヶ丘第三住宅		11/10		○	○		○		○
大津ヶ丘第四住宅							○		○
大津ヶ丘第五住宅							○		○
グランシティ団地		11/17		○			○		○
ブロムナード団地							○		○
大津ヶ丘商店街									
塚崎パークヴィラ		9/28		○	○				○
リバティーヒル柏		10/20	○	○	○	○	○	○	○
手賀の杜		12/8	○	○	○	○	○	○	○

（注）大津ヶ丘第二住宅は当会未加盟にて記載対象外の団体。大津ヶ丘商店街は非居住者地域の組織のため、住民向け訓練実施団体対象外。10/27の大津ヶ丘第一小学校での避難訓練は衆議院議員選挙投票日と重なり、当日投票所使用のため避難所運営訓練は中止となった。12/8の沼南高等学校での訓練も翌日の期末考査の保安上の理由で同校での実施を見送った。🏫学校避難所での防災訓練は、この2校以外の計5校において関係団体によりそれぞれ実施された。

【別紙2】太田柏市長へ提出の防災関係要望書（12月24日付）

1. 柏市内広範囲でのより多くの市民参加型防災訓練の実現を求めます

これまで市防災行政が行ってきた総合防災訓練では、大規模災害発生時の実践的対応は難しいと考えます。まずは市内の全域を実施対象とした訓練の実現を、各地域住民の協力で実現することを要求します。

その中では、中学校・高校生の避難所運営への積極的な参加が期待できるよう、学校教育で地域ボランティア推進を訴えていただきたいと思います。

2. 市民向け屋内避難の選択先の一つとしてマイカー＆マイテント避難を可能とする場所の調査及び確保を求めます

私ども風早北部地域住民にとって大きな課題である「在宅避難以外の屋内避難場所確保」につき、その解消策の一つとして私どもが強く要望するのが「マイカー＆マイテント」避難です。当地域内には既に、二松学舎大学柏校において学校側との合意が図られ、非常時の住民によるマイカー避難が可能となっています。これ以外の公園や緑地についても、車両を利用した住民避難となり得るスペースが幾つかあるものと思われます。

こうしたマイカー避難を可能とする市内の公園や緑地につき、まずは対象地の調査を担当部局の協力の下で実施され、本件に関する私ども住民からの意見（避難場所候補となり得る土地に関するヒアリング）にも積極的に耳を傾けていただきたく、要望します。

3. 災害時に大怪我をしない・させないための支援を求めます

旧沼南町地域の総合病院(災害時救急対応の医療施設)がないことから、その設置が求められ、市長をはじめ市職員のご尽力で沼南体育館をその候補地にすることまでは決まりました。一方でその関係先である、医療機関、医療機器や製薬会社等の組織との検討協議はまだまだ不透明であり、私どもはその実現が相当に困難で、満足のゆく施設の実現は不可能と判断しています。むしろ、大規模災害時に大怪我をしない、させない対策に舵をきったやり方が現実的であると考えます。

大怪我をしない・させない市民向け講習会の実施、家具や家財の転倒防止措置に関わる補助金制度の創設(現状の社会福祉主管でなく防災主管で)を求めます。

4. その他

✓ 自主避難所開設案内を行政無線で（市民に広く知ってもらうために）

自主避難所の市民認知度は決して高くない中で、現状の行政無線活用のルールはかなり狭い（限定的すぎる）と感じます。市民に広く自主避難所を認識していただくことを優先とすべきではないでしょうか。

✓ 避難所の出入り管理はマイナンバー読み取り機で（早期導入を）

避難所への市民等の出入りを効率的に行うことで、これ以外に人的リソースを投入可能と考えます。個人情報管理の厳格化を担保に、人による従前の受付作業との併用の中、是非本件の導入をご検討いただきたいと思います。

- ✓ 市内の市民防災団体の現状の活動状況の把握を（市行政の責務です）
柏市の住民団体の防災活動やそのレベルを平時から把握すべきであり、是非市の防災行政が積極的に調査をされるよう強く求めます。
- ✓ 市防災行政のチェック機能や機関の確立を（市議会では限界があります。また、現状の柏市防災会議にはその役割を担っているとはいえません
現状の柏市防災会議に一般市民を含む防災専門家や熱心な方々を加え、年2～4回の開催（1回の開催時間は少なくとも3時間程度）を求めます。
- ✓ 地域防災計画の構成見直しを（公助、共助、自助の役割記載を簡易で分かりやすく。火山噴火対策の充実も求めます）
- ✓ 市職員の働き方改革を（上記の各項目をより前進させるためには、市防災行政に従事する職員を本庁から各地区（主要な近隣センター）分散配置は欠かせないものと考えます）
例えば、上記の市内の市民防災団体の活動状況の結果を踏まえ、テコ入れが必要と思料される市内3から4箇所の近隣センターに防災職員各2～3名程度を配置、平時は同センター職員として勤務する傍ら、同センター及びその周辺の3～4か所の近隣センターでの防災行政も担当するよう、職員の勤務配置変更（身分は市民生活部併任）を要望します。

以 上

注）上記の要望内容の一部は、柏市市議会有志議員のご理解もあり、本年3月の定例市議会会議場での質問・要望に取り上げられました（その具体的内容や柏市からの回答状況は、今後当会防犯防災部から配信の住民向けニュース紙面をご覧ください）。

【別紙3】令和6年度防災講習会（実施結果概要）

「災害発生時に取るべき適切な行動を学びましょう」

第1部「住民で行って欲しい3つ+αの訓練」（当会防犯防災部からの説明）

これを柏市内のより多くの市民が実施することで、現行の行政主導防災訓練はほぼ必要なくなる＝防災行政のスリム化や他の業務（より必要な部署）への市職員配置転換にもつながることでは非常に有効な活動であることを強調。

第2部「防災講習会」での講師発言の主なポイント（講師は柏市防災研究会）

- ✓ 冒頭、今年1月1日発生の能登半島地震の被害状況につき、マスコミ報道や氏が自ら現地ボランティアとして訪問した際撮影した内容を中心に紹介。被災地と県の心臓部である金沢市、千葉県全体の中での房総半島と柏市の地理的な距離を比較、被災地避難所の様子（非常に劣悪な環境：体験住民が語る悲惨な避難生活の現状手記を含む）、幹線交通路遮断、ライフライン供給停止、情報不足の悪条件が災害復旧を遅らせたこと、ボランティアが現地になかなか浸透できない環境であったことが課題で示された。
- ✓ 講習会本題では、地震が起きた際の初動から避難移動までの行動（3分間は自身の安全確保、3時間以内に家族の安否を確認し安全な居場所を確保、外部からの救援が本格化する3日間は家族や地域で支え合う）が示された。
- ✓ 避難時の持出し品は事前に考え用意しておくこと（それぞれの世帯ごとに内容は異なるが、基本的に必要な物資は日頃から用意しておく）。
- ✓ 多様化する避難形態の中では、「在宅避難」が損壊さえなければ一番安心できる場所ながら、ライフライン停止環境下で、必要な生活物資確保（避難所まで取りに行くことなど）をどうするかを避難所運営の地域内で想定しておく必要がある。
- ✓ 災害情報入手手段は各自、各世帯で複数確保しておくこと。情報不足が人命を含む大事故や二次災害に繋がる。防災アプリ、ネットでの気象情報、市のハザードマップ。
- ✓ 自分が日頃生活する場所が過去にどういった地形、地勢であったかを知っておくことも、水害や地震で土地が危うくなる可能性の把握に活用。
- ✓ マイタイムラインを事前に策定しておくことが重要。
- ✓ 災害発生時にとるべき共助関係では、国が数年前から各地方自治体に実施を求めている、高齢者や身体障害者（いわゆる要支援者）への個別避難計画に触れ、市が行っている防災福祉Kネットを取り上げる。その中でも、Kネット登録者に配布される防災キットの有効性を強調。

その他として、地域女性防災活動サークル「風北ジョイナス」からの告知、メンバー募集中の案内が示された。

【別紙4】りすくマ説明会での出席者との質疑応答記録（講師は柏市上下水道局職員）

《質問》センサーが設置可能なのは雨水管でよいのか？

《回答》その通りです。風早北部地域はこの雨水管が他の地域より少ないこと、比較的高台が多く内水氾濫の危険性が他の地域に比べ高くないことで、センサー設置が全域で未了となっています。雨水管の市内での設置割合は全体の2割程度で、より洪水氾濫のリスクが高い他の地域に優先してセンサー設置がされている。

《質問》最近当地域内でのマンホール工事が目立つが、これは何故か。

《回答》概ね10年から20年で経年劣化することによる改修工事と思われる。

《質問》大津川沿いで河川氾濫の心配があるが、市として県や国と連携して氾濫防止に取り組めないのか。

《回答》国は専ら河川氾濫対応、県は污水管への対応が主である。雨水管設置には1メートルあたりでもおよそ100万円の費用がかかるといわれており、改修が容易でないことをご理解いただきたい。その意味で、公助の限界を踏まえた共助や自助でのご対応（例として、災害非常時に自家用車の高台への移動避難、自宅では2階以上の高所避難行動など）をお願いしたい。

なお、今回のシステム閲覧を市民に開放した（同システム導入も全国自治体では初の試み）ことについては、地価への影響もあり苦渋の判断であったが、全国的にこれだけ大規模風水被害が毎年どこかで発生している状況下では、こうした積極的な情報開示は避けられないものと判断した結果であることも是非ご理解いただき、各地域や各世帯での適切な対応をお願いしたい。

【別紙5】防犯講習会の実施結果概要（担当講師）

第一部：風早北部地域を含む柏市内の犯罪発生情勢と対応策（当会内部講師）

- ✓ 2002年の犯罪発生件数をピークにわが国では犯罪は減少傾向。平成の大合併の機会に警察防犯と市民防犯の両輪で好結果を記録。
- ✓ 2022年から発生件数は上昇中で今年（2024年）の統計に注目したい。
- ✓ 最近発生凶悪強盗事件につき、特徴と今後の展開や市民がとるべき対策を教示。
- ✓ 空き巣犯、自転車盗難事件、車両盗難事件の最近の特徴と対策を教示。
- ✓ 地域団体で執っていただきたい3つの行動（住民目線の強化と通報体制の整備、街をきれいにする環境運動の推進、防犯灯新規設置の検討）を推奨。

第二部：柏市沼南地域での消費者トラブルの現状報告（柏市消費生活センター職員）

- ✓ 消費生活センター組織、その使命や業務内容、最近の主な相談内容の紹介
- ✓ だまされやすさの自己点検（騙されやすさの心理チェックを体験）
- ✓ 動画（小さな気づきが第一歩、気づきをつなぐ）視聴
- ✓ 具体的な事例紹介：点検商法、くらしのレスキューサービス、訪問販売購入、健康食品の定期購入、ネット上のトラブル（偽の警告）、国際ロマンス詐欺
- ✓ 賢い消費者になるための合言葉「お断りします」「いりません」（会場で復唱）